

第4回平等な未来パートナーシップ（ハイレベル）会合 パネルディスカッションでの岸田外務大臣の発言

平成26年9月22日
ニューヨーク

質問1：「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム」が今月開催されたと聞いているが、どのような成果があったとお考えか伺いたい。

- 安倍総理のイニシアチブの下、日本政府は、9月12日～14日、「女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム；WAW! Tokyo 2014」を東京で開催。ラガルドIMF専務理事，ムランボ＝ヌクカ UN Women 事務局長，ブレア元英国首相夫人をはじめ，24カ国，6国際機関及び我が国の女性分野で活躍するリーダー約100名が参加。女性の活躍推進のための包括的な議論を行い，私自身が議長としてWAW!の議論の中で出た意見を取りまとめ，12の提言「WAW! To Do」を発出しました。
- その中には，経営トップのコミットメント，長時間労働と決別する異次元の働き方への変革，ホーム・ケアの活用などといった，経済における女性の活躍推進策や災害や危機への対処，平和と安全における女性の役割強化などのグローバルな課題への対策が提言されています。
- 私は，この12の提案「WAW!To Do」を，「女性が輝く社会」を作っていくため日本から世界に発信していきたい。
- WAW!は来年も開催します。この「平等な未来パートナーシップ」会合で，また皆さんとともに，成果を共有できることを楽しみにしています。

質問2：大臣は昨年3つのコミットメント（注）をされているが，どのような進捗や課題があったか教えて頂きたい。

- まだ道のりは遠いですが，この1年で飛躍的に進んでいます。
- 我が国は，2020年までに，女性が指導的地位に占める割合を30%とする目標を掲げています。「WAW!To Do」提案にもありますが，トップのコミットメントが重要です。

- 9月3日に内閣改造が行われましたが、過去最多である5人の女性官僚が任命され、これにより、我が国の女性閣僚の人数は、OECD加盟国中29位から11位に躍進しました。また、総理自ら経済界に女性役員の登用について要請した結果、この1年で民間企業の管理職比率は6.9%から7.5%に増加しました。
- また、労働市場においても、様々な取組みの結果、我が国の働く女性は、この1年間で53万人も増えました。
- 女性の輝く社会づくりを進めるためには、男性自身が変わることも重要です。本年5月には、日本の名だたる企業の男性トップが「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」を結成するなど、うれしい変化も見られています。私も男性リーダーの一人として、引き続き女性活躍促進のために汗をかいていくつもりです。